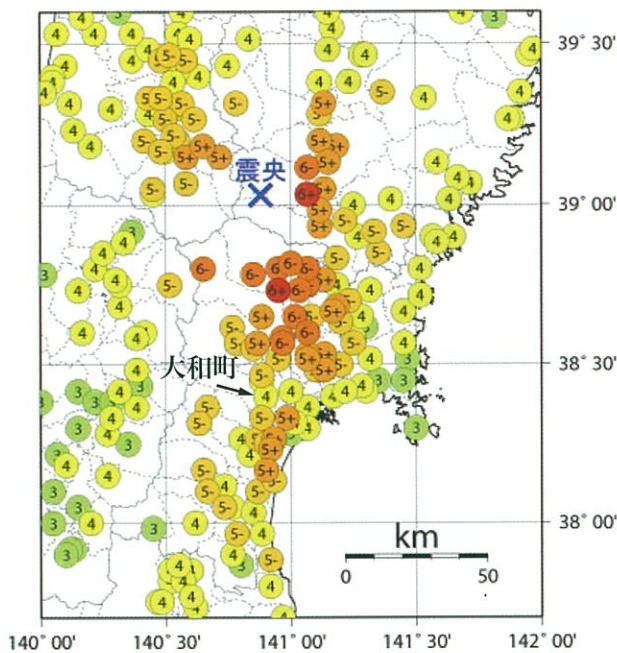


地震による被害を軽減するために

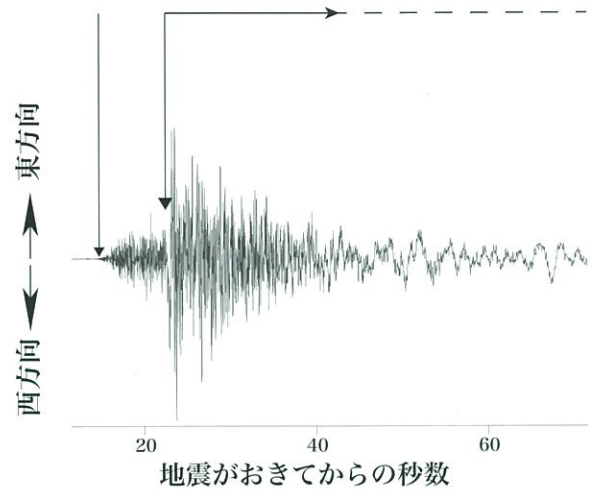
大和町総務まちづくり課 〒981-3680 宮城県黒川郡大和町吉岡字町裏16
ホームページ <http://www.town.taiwa.miyagi.jp/>



平成20年6月14日岩手・宮城内陸地震の震度分布
(気象庁資料)

平成20年岩手・宮城内陸地震

揺れはじめ (P波の到達) 大きな揺れ (S波の到達)



大和町で観測された平成20年6月14日岩手・宮城内陸地震の揺れ
(加速度波形：独立行政法人防災科学技術研究所資料)

3 地震の揺れはところによって変わる

地震は、カタカタと小さな揺れで始まりますが、その後に大きな揺れを感じた経験をお持ちの方が多と思います。岩手・宮城内陸地震の時も、本町では揺れはじめから約10秒後（地震がおきてから約20秒後）に大きな揺れが到着したことが、地震計の記録からもわかります。

「震度」とは揺れの強さ、「マグニチュード (M)」とは地震そのものの大きさを表します。電球で例えれば、震度は「手元の明るさ」ですが、マグニチュードは「電球そのものの明るさ (ワット数)」に相当します。

マグニチュードは1つですが、それぞれの場所の揺れの大きさを示す震度は、場所によって異なります。右の図は震源に近く、地盤が軟らかい場所ほど大きく揺れることを示しています。

